

友輪

横浜市南区宮元町4丁目83番地 郵政番号223-8515
大山祇命神示教会神職本部 編集
電話 045-731-5373
©大山祇命神示教会 2018

時代の姿が大きく変わろうとする今、
信者は家族で「教え」を学び、「真理」に生きる。人は運命に重なる「人生」を歩んでゆける。「生きがい」を手にし、喜び多い人生を歩む人の心がここにあり

時代の真実を知って

心の道に良い歴史を

家族で神の教えを学び、家庭生活に生かすことを、神は強く促されています。そうした神の指導を実践に移しているでしょうか。神がお教えくださったことは、すぐに実践できるように努力すべきです。神は、人々の現状や社会の変化などを見通し、どう生きるべきかを示されているからです。

神の「指導」をすぐに実践へ

人が生きる原点は、家庭にあります。心が安らぐ家庭があつてこそ、人の正体である魂は安定します。ですから、教えを家庭に入れるのです。それは、私が家庭が道がなくなつてしまふ。神から課題が示された以上、「そのうち、できる」といつか「なごい」う姿勢でいて、何が起きては大変です。神が提示されたことは、すぐに受けて立つべきです。大切なのは、なぜ家族で教えを学ぶ必要があるかを知ることです。家族

で教えを学んでいると、
家族の気持ちが重なるなら、
なごいう姿勢はあり、流れに

神 示
時代とは何か 教えよう
歴史は 人間が作り
時代を生み出し 導いてくれる

ここに 社会が安定せず
先が見えない時代は
人類は進んでいられない

この世の仕組みを知り、
「運命」の力を結ぶために
日々歩んでいこう

「教え」を学び
真理に生きる努力を
自然と全うの出会いが生まれる

この調和の姿が
時代をつくり
歴史と残るのである

平均寿命も延び、高齢化社会となった日本。誰もが願うのが健康です。その中で、健康を維持するにはどうすればよいか、的確な医療の受け方、介護の仕方などに、多くの人々が高い関心を寄せています。そのときに心に留めたいのは、健康を維持し、心身の健康を保持して、ま

仕合せの基は和のある家庭。それは、健康と無関係ではありません。夫婦仲良く、親子仲良く、家族の和があつてこそ、心の安定があり、身体的な健康も維持できるのです。

心がいつも不安定で、いらぬ、かりかり、くよよよ、小さなことでこだわっている人は、体調を崩しがちです。心で生きる人間は、常に心が

乗って暮らせます。環境に不満を持たず、順応していきましょう。周りに順応できれば、全ての存在と運命を重ね合わせ、調和して生きられます。現実の社会は、人間が何でも自由にでき、時代や歴史をつくっていると思ひ込んでいます。しかし、時代の変化は、人の力ではどうすることもできません。神も、このように表されています。

知識と努力と経験のみを頼って生きるゆえ
自ら虚構の社会をつくり
苦しみ 不安に迷う時代に
追いついてゆく

人類は進んでいられない
人類は進んでいられない
人類は進んでいられない

人類に与えられた世界は
運命の力が互いに重なり
補い合つて回つてゆく

よって
この世の仕組みに
逆行する流れは
あるべき姿に戻つてゆく

自然と修正されて
あるべき姿に戻つてゆく
今 時代は正しく
あるべき姿へと
戻らんとしている

真実が時代をつくりと悟られよ
なれど 人類は

運命の流れで 時代の変化が

時代は人間がつくつていくと、多くの人々が錯覚しています。しかし、時代の運命の中で歴史が移り変わつていくだけです。目には見えない運命の力が知らず知らず、社会が安定せず、先の見えない状態に追い込まれていくと、神がお教えくださいます。

毎日の報道を見ると、心配になるような事実が取り上げられ、どうすればよいのか答えが見えないのが現実です。報道を受ける側は、冷静に判断することが必要です。

社会の最小単位、家庭においてはどうでしょうか。先が見えないから、いろいろな情報に頼り、気持ちが追い込まれる傾向もあります。それは、自分で自分を追い込んでいってしまうのです。

そうしたことに気が付かず、周りと摩擦を起している人がたくさんいます。正しい判断ができず、不満を募らせています。結果、社会が安定しない状態に追い込まれていくのです。

「奉仕の心」こそ
調和を生んで

そこで、神は、この世の仕組みを知り、与えら

はあります。根幹は、心です。心と体の調和です。ですから、無理のない生き方、謙虚な生き方が必要です。そこに、心導くべきです。

と体、運命と実体の調和の取れた健康生活があります。神も、このように指

導かれています。

「運命」となる
「健康」となる

「健康」の姿を知らずに
日々送る人が多い

「運命」が導く
心の動きを取る

「教え」を学び
「真理」が悟れると
人は環境に調和した

自然と体が心の動きに順応し
無理する態度は起さない

心と体の調和に
人間の正体は魂
その魂が肉体に宿り

「生きる」人であれ

「教え」を学ぶ

「真理」が悟れると

人は環境に調和した

自然と体が心の動きに順応し

無理する態度は起さない

心と体の調和に



神示を学ぶことで時の流れに乗ることが

教えを家庭に入れる

子供は親の背を見て

小さな時は素直だった子供も、成長とともに言うことを聞かなくなったり、何を求めているのかわからなくなったり、嘆く親も多々あります。子育てとどうあるべきか、そこには神の御心が必要です。

「内面を見詰め
謙虚に生きる

多くの人は、知識、経験、努力を頼って生きてきた。虚構の社会をつくり、神は言わ

れません。内面を向け、神が与えてくださったこの世界は、各自の運命を奉仕すれば、さまざまに謙虚に生きれば、自然の運命とも重なり、補い合います。

今は、そのような時代に変わつてきている。節目の時、この世の仕組みに逆行する動きは、徐々に修正されていきます。あるべき状態に戻つていきます。それをいち早く知り、教えに沿って生きる努力が必要で

ます。時代は真実を知つて、神示、真理に生きるべきです。ですから、教えを学ぶのです。

「神示」
「教え」のある家庭に
「道」欠く心の動きも
自然と消えて
家族の運命を重ねて生きる
和のある家庭が手に入る
夫婦が「教え」を心に支えに
人生を歩む

「教え」を夫婦で学べば
自然と我が子が映る
親の姿は輝いてゆく
親子の心をつなぐのは信頼
「心の道」を共に歩む

「道」欠く心の動きも
自然と消えて
家族の運命を重ねて生きる
和のある家庭が手に入る
夫婦が「教え」を心に支えに
人生を歩む

「教え」を夫婦で学べば
自然と我が子が映る
親の姿は輝いてゆく
親子の心をつなぐのは信頼
「心の道」を共に歩む

「道」欠く心の動きも
自然と消えて
家族の運命を重ねて生きる
和のある家庭が手に入る
夫婦が「教え」を心に支えに
人生を歩む

「教え」を夫婦で学べば
自然と我が子が映る
親の姿は輝いてゆく
親子の心をつなぐのは信頼
「心の道」を共に歩む

「道」欠く心の動きも
自然と消えて
家族の運命を重ねて生きる
和のある家庭が手に入る
夫婦が「教え」を心に支えに
人生を歩む

「教え」を夫婦で学べば
自然と我が子が映る
親の姿は輝いてゆく
親子の心をつなぐのは信頼
「心の道」を共に歩む

「道」欠く心の動きも
自然と消えて
家族の運命を重ねて生きる
和のある家庭が手に入る
夫婦が「教え」を心に支えに
人生を歩む

「教え」を夫婦で学べば
自然と我が子が映る
親の姿は輝いてゆく
親子の心をつなぐのは信頼
「心の道」を共に歩む

「道」欠く心の動きも
自然と消えて
家族の運命を重ねて生きる
和のある家庭が手に入る
夫婦が「教え」を心に支えに
人生を歩む

「教え」を夫婦で学べば
自然と我が子が映る
親の姿は輝いてゆく
親子の心をつなぐのは信頼
「心の道」を共に歩む

「道」欠く心の動きも
自然と消えて
家族の運命を重ねて生きる
和のある家庭が手に入る
夫婦が「教え」を心に支えに
人生を歩む

「教え」を夫婦で学べば
自然と我が子が映る
親の姿は輝いてゆく
親子の心をつなぐのは信頼
「心の道」を共に歩む

「道」欠く心の動きも
自然と消えて
家族の運命を重ねて生きる
和のある家庭が手に入る
夫婦が「教え」を心に支えに
人生を歩む

「教え」を夫婦で学べば
自然と我が子が映る
親の姿は輝いてゆく
親子の心をつなぐのは信頼
「心の道」を共に歩む

親の愛情が不可欠です。父親、母親がそろって子供に温かい関心を示し、心と体の魂の安定を図るのです。そして、十五歳を過ぎたならば、神から与えられた運命が正しく育つていくように、人としてあるべき生き方を手本と示さされています。

神 示
人を育てることは
難しいことではない
我が子を立派な人に育むことも
同じこと
親子のつながりは
自然と深まってゆく
神示を夫婦で学ばば
人としての「心の姿」が
見えてくる

「道」欠く心の動きも
自然と消えて
家族の運命を重ねて生きる
和のある家庭が手に入る
夫婦が「教え」を心に支えに
人生を歩む

「教え」を夫婦で学べば
自然と我が子が映る
親の姿は輝いてゆく
親子の心をつなぐのは信頼
「心の道」を共に歩む

「道」欠く心の動きも
自然と消えて
家族の運命を重ねて生きる
和のある家庭が手に入る
夫婦が「教え」を心に支えに
人生を歩む

「教え」を夫婦で学べば
自然と我が子が映る
親の姿は輝いてゆく
親子の心をつなぐのは信頼
「心の道」を共に歩む

「道」欠く心の動きも
自然と消えて
家族の運命を重ねて生きる
和のある家庭が手に入る
夫婦が「教え」を心に支えに
人生を歩む

「教え」を夫婦で学べば
自然と我が子が映る
親の姿は輝いてゆく
親子の心をつなぐのは信頼
「心の道」を共に歩む

「道」欠く心の動きも
自然と消えて
家族の運命を重ねて生きる
和のある家庭が手に入る
夫婦が「教え」を心に支えに
人生を歩む

「教え」を夫婦で学べば
自然と我が子が映る
親の姿は輝いてゆく
親子の心をつなぐのは信頼
「心の道」を共に歩む

「道」欠く心の動きも
自然と消えて
家族の運命を重ねて生きる
和のある家庭が手に入る
夫婦が「教え」を心に支えに
人生を歩む

「教え」を夫婦で学べば
自然と我が子が映る
親の姿は輝いてゆく
親子の心をつなぐのは信頼
「心の道」を共に歩む

「道」欠く心の動きも
自然と消えて
家族の運命を重ねて生きる
和のある家庭が手に入る
夫婦が「教え」を心に支えに
人生を歩む

「教え」を夫婦で学べば
自然と我が子が映る
親の姿は輝いてゆく
親子の心をつなぐのは信頼
「心の道」を共に歩む

「道」欠く心の動きも
自然と消えて
家族の運命を重ねて生きる
和のある家庭が手に入る
夫婦が「教え」を心に支えに
人生を歩む

「教え」を夫婦で学べば
自然と我が子が映る
親の姿は輝いてゆく
親子の心をつなぐのは信頼
「心の道」を共に歩む

「道」欠く心の動きも
自然と消えて
家族の運命を重ねて生きる
和のある家庭が手に入る
夫婦が「教え」を心に支えに
人生を歩む

「教え」を夫婦で学べば
自然と我が子が映る
親の姿は輝いてゆく
親子の心をつなぐのは信頼
「心の道」を共に歩む

「道」欠く心の動きも
自然と消えて
家族の運命を重ねて生きる
和のある家庭が手に入る
夫婦が「教え」を心に支えに
人生を歩む

「教え」を夫婦で学べば
自然と我が子が映る
親の姿は輝いてゆく
親子の心をつなぐのは信頼
「心の道」を共に歩む

「道」欠く心の動きも
自然と消えて
家族の運命を重ねて生きる
和のある家庭が手に入る
夫婦が「教え」を心に支えに
人生を歩む

「教え」を夫婦で学べば
自然と我が子が映る
親の姿は輝いてゆく
親子の心をつなぐのは信頼
「心の道」を共に歩む

「道」欠く心の動きも
自然と消えて
家族の運命を重ねて生きる
和のある家庭が手に入る
夫婦が「教え」を心に支えに
人生を歩む

「教え」を夫婦で学べば
自然と我が子が映る
親の姿は輝いてゆく
親子の心をつなぐのは信頼
「心の道」を共に歩む

「道」欠く心の動きも
自然と消えて
家族の運命を重ねて生きる
和のある家庭が手に入る
夫婦が「教え」を心に支えに
人生を歩む

「教え」を夫婦で学べば
自然と我が子が映る
親の姿は輝いてゆく
親子の心をつなぐのは信頼
「心の道」を共に歩む

誰もが求める健康

真理に生きて 心と体の調和を

平均寿命も延び、高齢化社会となった日本。誰もが願うのが健康です。その中で、健康を維持するにはどうすればよいか、的確な医療の受け方、介護の仕方などに、多くの人々が高い関心を寄せています。そのときに心に留めたいのは、健康を維持し、心身の健康を保持して、ま

仕合せの基は和のある家庭。それは、健康と無関係ではありません。夫婦仲良く、親子仲良く、家族の和があつてこそ、心の安定があり、身体的な健康も維持できるのです。

心がいつも不安定で、いらぬ、かりかり、くよよよ、小さなことでこだわっている人は、体調を崩しがちです。心で生きる人間は、常に心が

乗って暮らせます。環境に不満を持たず、順応していきましょう。周りに順応できれば、全ての存在と運命を重ね合わせ、調和して生きられます。現実の社会は、人間が何でも自由にでき、時代や歴史をつくっていると思ひ込んでいます。しかし、時代の変化は、人の力ではどうすることもできません。神も、このように表されています。

知識と努力と経験のみを頼って生きるゆえ
自ら虚構の社会をつくり
苦しみ 不安に迷う時代に
追いついてゆく

人類は進んでいられない
人類は進んでいられない
人類は進んでいられない

親子で教えを学ぶ 『実りのみち2018』 『友輝22』 発行

教えを家族で学んで、日々の生活に反映させる大切な、神は繰り返して呼び掛けられています。真理に沿った家庭において、一人一人の良さが磨かれるからです。そして、青少年には、実りの集いと友輝の授けが深められ、家族のつながりに触れて、大切なことを学び、不安材料が多い現代でも、親子で心を重ね、教えに生きることが、子供の良さは生き生きと伸びていきます。そして、十五歳を過ぎた青年は、自分と与えられた社会に役立つ運命に

自信を持ち、力を磨いていくことが必要です。だからこそ、神は青年たちに深い真理の教を授けています。人生の土台を築く青年期に、世の中の仕組み、真理を学び取り、何があつてもぶれることのない自分をつくるのです。

青少年教育も四月から新年度です。家族そろって教えに触れ、それぞれが自身の心を向上させていきましょう。そこに、一人一人の人生が必ず輝くものとなつていくはず

です。

の目に向けて、神はこのようにお教えくださいます。

神 示
「真理」に生きる努力を重ねる
「人生」に生きる努力を重ねる
「道」欠く心の動きも
自然と消えて
家族の運命を重ねて生きる
和のある家庭が手に入る
夫婦が「教え」を心に支えに
人生を歩む

